



操 作 順 序	操 作 内 容	確 認 事 項	操 作 場 所	確 認
7	S/C ベントを開始する。 (1) PCV ベント弁 (MO-271) 25%調整開 a. 弁開度確認不可の場合は、インチング操作で8秒間開とする。(フルストローク 30秒) (ラプチャーディスク破裂圧力: 427kPa) b. 格納容器圧力が急激に下降したら、負圧にならないようにPCV ベント弁 (MO-271) を全開する。	Ⓡ点灯, Ⓞ点灯 現場弁開度計  D/W 圧力計 PI-172 S/C 圧力計 PI-176 (D/W・S/C 圧力 記録計) (FR/PRS-16-105)	9-99  9-99 " 9-25	
8	格納容器圧力が上昇する場合は、PCV ベント弁 (MO-271) を全開する。 格納容器圧力が 13.7kPa 以下になる場合は S/C ベントを停止する。  (1) 圧力抑制室ベント弁 (A0-205) 「全閉」 (2) S/C ベント弁用空気ポンベ出口弁 (MO-283) 「全閉」 (3) PCV ベント弁 (MO-271) 「全閉」 尚、それ以前に緊急時対策本部の判断により全閉とすることがある。	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯  D/W・S/C 圧力記 録計 FR/PRS-16-105 Ⓡ消灯, Ⓞ点灯 " "	9-99  9-25 9-3 9-99 "	
9	ベント操作中に RHR 系が復旧した場合は、格納容器圧力が抑制できる段階で、S/C ベントを停止する。 *停止操作は操作順序8と同様。			
10	ベント操作後は、格納容器内の水素酸素濃度の監視を頻繁に行う。格納容器水素濃度が 10%に到達した場合は、PCV 圧力が 106kPa 以下 (FCS 運転時の制限圧力) であることを確認して、FCS を起動する。 FCS を起動後は、EOP「格納容器制御」(PCV 水素濃度制御) に従い、水素濃度を制御する。	CAMS 水素濃度 10%以 上かつ 酸素濃度 4.5% 以上	9-79 "	
11	本操作中、S/C 水位が S/C ベントノズル水没水位 4470 mm (LI-16-174) まで上昇した場合は、S/C ベントを中止して、2-3-2 項 D/W ベント操作に移行する。 (1) 圧力抑制室ベント弁 (A0-205) 「全閉」 (2) S/C ベント弁用空気ポンベ出口弁 (MO-283) 「全閉」 (3) PCV ベント弁 (MO-271) 「全閉」	Ⓡ消灯, Ⓞ点灯 " "	9-4 9-99 "	

2-3-1-3

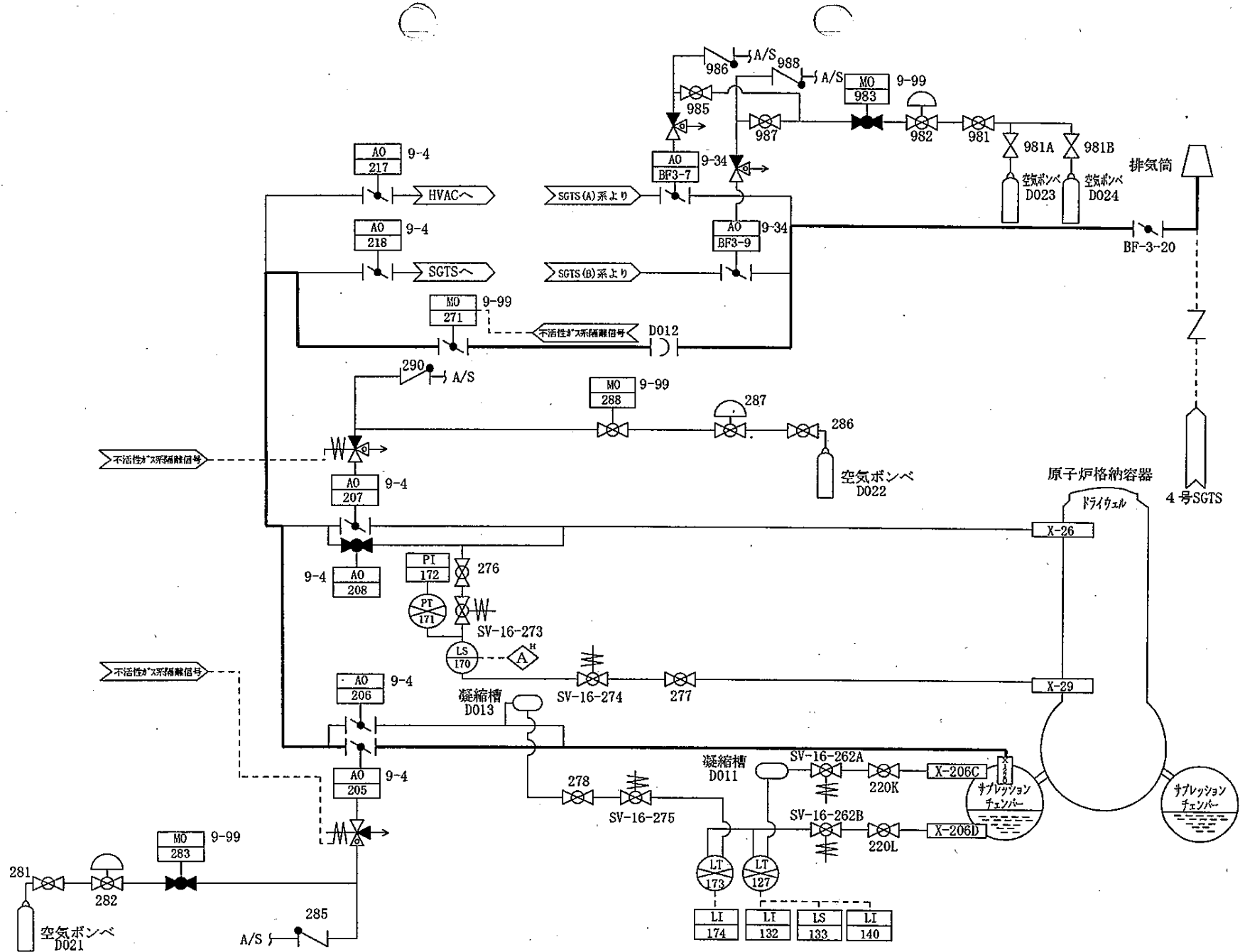


図-1 S/Cベント (モード1)